

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 5 部門第 3 区分  
 【発行日】平成26年12月18日 (2014.12.18)

【公開番号】特開2013-194993(P2013-194993A)  
 【公開日】平成25年9月30日 (2013.9.30)  
 【年通号数】公開・登録公報2013-053  
 【出願番号】特願2012-63030(P2012-63030)  
 【国際特許分類】

F 2 3 C 1/00 (2006.01)

F 2 3 C 99/00 (2006.01)

F 2 3 D 1/02 (2006.01)

【F I】

F 2 3 C 1/00 3 0 1

F 2 3 C 99/00 3 0 5

F 2 3 D 1/02 Z

【手続補正書】  
 【提出日】平成26年11月5日 (2014.11.5)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 4 5  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 4 5】

本実施例の微粉炭バイオマス混焼バーナ 1 は、図 3 に示すように、バイオマス混焼率 60 重量%においては、負荷率 100%でバイオ A / C 0.5 から 1.6 まで、負荷率約 50%では、燃焼不良のプロット位置に鑑みて、バイオ A / C 0.5 から 2.4 までの直線で挟まれ、上辺が上記負荷率 50%と 100%における仕切り線の上側端点同士を結び燃焼が不良な×印を避けて引かれた保炎性が保証できる上限界線で仕切られ、下辺が直線で仕切られた運転推奨領域で工業的に使用ができることが分かった。

なお、負荷率 50%以下では、バイオマス燃料流中の燃料濃度が小さくなり安定した着火や保炎が得られ難くなるので、勧められない。